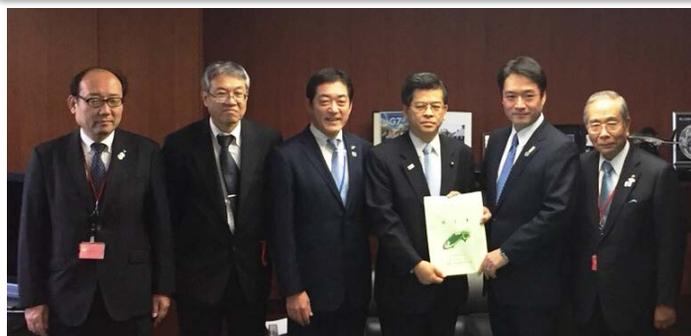


平成29年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 政策提言

平成29年11月9日に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」（発起人代表：尾崎正直 高知県知事）は、石井啓一国土交通大臣と財務省岡本薫明主計局長に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や道路整備に必要な平成30年度予算の確保などについて提言を行いました。

国土交通省（石井国土交通大臣）への政策提言



▲左から 川田香川県審議監、海野徳島県副知事、中村愛媛県知事、石井国土交通大臣、尾崎高知県知事、千葉四国経済連合会会長



▲左から 松延東洋町長、綾坂出市長、影治美波町長、菅今治市長、石井国土交通大臣、中平宿毛市長、中平四万十市長、横山安芸市長、前田海陽町長



【川田香川県審議監】

- ・産業振興のためには高松自動車道の4車線化事業の早期完成が必要。

【石井啓一国土交通大臣】

- ・高速道路の整備に対する気持ちは皆様と同じ。これからもしっかりと取り組んでいく。

【尾崎高知県知事】

- ・南海トラフ地震の発生により四国では甚大な被害が想定されている。国道の寸断が想定される区間にミッシングリンクが集中。災害時には「命の道」となる四国8の字ネットワークの早期整備が必要。
- ・四国8の字ネットワークの延伸により高知県西部を起点とした消費圏域が拡大し、地元の生鮮食品を提供する飲食店が神戸市で相次いで進出するなど着実に効果が発現。産業振興の面からも整備が必要。

【千葉四国経済連合会会長】

- ・四国は豊富な観光資源を有し、また海面養殖が盛ん。高速道路が整備されなければ、観光資源等のポテンシャルが発揮できない。
- ・安全を確保するためには、暫定2車線区間の4車線化が必要。

【中村愛媛県知事】

- ・中国地方及び九州地方とのさらなる連携強化を図るため、「四国8の字ネットワーク」とこの二つの地方とをそれぞれ結ぶ上で不可欠な「今治道路」及び「大洲・八幡浜自動車道」の早期整備、また、高知県との産業や観光面等における連携・交流の強化につながる「内海～宿毛間」の早期事業化をお願いする。

【海野徳島県副知事】

- ・高速道路の整備を見据え、沿線に新たな企業立地が進み雇用が拡大。生産性を向上させる産業振興には、高速道路の整備が急務。
- ・災害時の命の道となる海部道路の早期事業化が必要。

財務省（岡本主計局長）への政策提言

【尾崎高知県知事】四国8の字ネットワークが整備されれば、大消費地である大阪まで消費圏域が拡大。

【千葉四国経済連合会会長】各地域間の物流の効率化を図るためには、高速道路の早期整備が必要。

【中村愛媛県知事】県内には3つのミッシングリンクがあり、いずれも広域交流・連携のために早期解消が必要。

【岡本主計局長】

- ・インフラ整備が地域経済にもたらす効果は理解している。限られた財源の中で、整備効果の高いところをいかに事業促進していくか本日の提言を参考に検討していきたい。

